

来週の「売り物記事」はこれ



2016年12月16日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ビキニ事件の闇 被害解明にささげた31年

18日(日)



米国が1954年に太平洋・ビキニ環礁付近で実施した水爆実験では、第五福竜丸がクローズアップされがちですが、この時期に周辺海域で操業していた日本船は延べ約1000隻に上るとみられます。しかし日本政府は55年1月、法的責任を問わずに「見舞金」として米国から200万ドルを受け取ることで合意。政治決着を優先した結果、被災船に乗っていた多くの乗組員に対する健康診断は行われず、保障もないまま現在に至っています。元高知県立高校教諭の山下正寿さん(71)＝写真＝がビキニ事件の闇を知ったのは85年春。被害の実態を解明するため、元船員や遺族ら約400人に聞き取り調査をするなどし、船員たちが帰港後に放射線測定器による検査を受けていたこと、体に異常が起きていることなどを次々と明らかにしました。「ビキニ被ばく」の解明にささげた31年の思いを伝えます。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

朴槿恵大統領スキャンダルの果てに——

見えてきた「隣国のかたち」とは

夕刊特集ワイド 19日(月)



友人の女性の国政介入問題などを受け、ついに韓国の朴槿恵(パク・クネ)大統領の弾劾訴追案が可決される事態となりました。路上を埋め尽くすデモ、韓流ドラマさながらの複雑な人間関係、そして政治ショーと化した聴聞会……海峡のこちら側でもテレビで目にしない日はありません。大騒動が浮き彫りにした「隣国のかたち」とは。そして、それは変わるのか。歴史学者の姜在彦さんから韓国社会の奥を知る識者と考えました。

がん経験者が入れる保険

くらしナビA面 21日(水)

がんを経験した人は、新たに保険に加入するのが難しくなります。最近では加入できる保険商品も増えてきました。ただし、健康状態にかかわらず加入できる「無選択型」の場合、既往症の再発や悪化による入院や手術は原則として保障されません。保険料も一般的な保険の約3倍。再発時に備えるための選択肢として知っておきたいポイントをまとめました。



新聞紙でエコバッグ

くらしナビB面 21日(水)



読み終えた新聞は資源ごみとして回収されリサイクルされるのが普通でした。軽くて加工が容易な新聞紙は、ほかにも再利用の方法があります。折りたたんで張り合わせ、取っ手を付けば、すてきなエコバッグの出来上がり。カラーページを表面にすれば見栄えも良く、時代の最先端をゆくデザインになります。工夫をこらして逸品づくりに励む名人を紹介します。

山崎ハコさん=写真=は高校3年で歌手デビューした当時、「中島みゆきの最大のライバル」とみなされました。パワフルな歌唱力と、社会の底辺から世界を見つめる歌詞。若者たちに広く支持されました。しかし、所属事務所がつぶれて印税を持ち逃げされ、文字通り路頭に迷う生活に。そこから再起し、40年前より澄んだ声で歌い続けている「魂の歌手」の生き方を伝えます。



さよなら……永遠のアイドル

SMAPは日本人に何を残したのか

オピニオン面 [論点] 23日 (金)



人気グループ、SMAPが年内で解散します。老若男女に愛され続けたアイドルの解散は、芸能ニュースの枠を超えて社会現象にまでなり、あのザ・ビートルズになぞって報じる海外メディアも現れたほどです。「解散しないで」というファンの声に振り返ることなく、静かに舞台を降りようとしているSMAPの5人。彼らは平成ニッポンに何を残したのでしょうか。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

次週の『来週の「売り物記事」はこれ』は22日(木)に発行予定です。